



栗田 志良ちゃん (佐南)
父・将憲さん 母・美香さん
平成20年11月22日生まれ
「明るく元気にたくましく！」



酒巻 文歌ちゃん (城南)
父・幹郎さん 母・貴子さん
平成20年11月25日生まれ
「笑顔がかわいい我家の天使」



宮澤白斗ちゃん (左)・**紅葉ちゃん** (右) (駒形)
父・秀和さん 母・香織さん
平成20年11月20日生まれ
「紅白仲良く分け合おうね☆」



はじ め ま し て



鶴木 理子ちゃん (城南)
父・洋平さん 母・利恵さん
平成20年11月3日生まれ
「心優しく健やかに」



相上 優奈ちゃん (長野)
父・裕紀さん 母・恵美さん
平成20年11月16日生まれ
「いつも心に太陽を」

平成21年1月生まれのお子さんを募集します

○11月30日(月)までに電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください



○応募者多数の場合は、12月3日(木)午後1時30分から市役所203会議室で公開抽選を行います。

さわやか サークル

モノレーシング MONO Racing

～夢を持ってマシンを製作～

タイムや燃費などの走行性能だけでなく、車両「コンセプト・設計・コスト」など、ものづくりの総合力を競うこの大会は、多角的な視点に立つてマシンを製作しなくてはなりません。しかし、このような難題に果敢に挑むメンバーの心境は試行錯誤を繰り返すつらさよりも、理想のマシンを造り上げよとするものづくりの楽しさの方が上回っていたようです。

リーダーを務めた製造技能工芸学科4年の酒本大地さんは「発足当初からチーム内で掲げている『夢を持つ』を合言葉に、大会に向けてこの1年間、チーム一

ミユラ大会に出場することを目的として2004年11月に発足したチームで、2006年の第4回大会から参戦。今年9月9日から12日までの4日間、静岡県小笠山総合運動公園(エコパ)で開催された第7回大会では80校がエントリーし、完走したのはわずか23校。その中で15位という好成績を収めたほか、日本自動車工業会会長賞を受賞しました。



今回紹介するのは、ものづくり大学でフォーミュラスタイルの小型レーシングカー製作に情熱を傾ける15人の学生が所属している「MONO Racing」です。全日



丸となつてがんばってきました。完走できただけでもうれしいことですが、ベスト20という目標をクリアでき大満足。製作を通してチームワークの大切さを学びました」と振り返ります。夜遅くまで学校に残って作業をするなど苦勞を重ねてマシンを製作しただけに、競技終了後、さまざまな思いが込み上げ目頭を熱くしたメンバーもいたそうです。

「今回の結果に満足せず、来年はさらに上の順位を目指してほしい」と後輩たちにエールを送る酒本さん。今後はOB会を立ち上げて、後輩たちをバックアップしたいと意気込んでいます。さらなる「夢」の実現に向けて、レースに懸ける情熱は次のメンバーたちへと引き継がれ、新たなマシンに注ぎ込まれます。

▼問い合わせ ものづくり大学 ☎564-3200